



## 2021年2月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年10月6日

上場会社名 株式会社放電精密加工研究所  
 コード番号 6469 URL <https://www.hsk.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 工藤 紀雄

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理部長 (氏名) 大村 亮

TEL 045-277-0330

四半期報告書提出予定日 2020年10月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年2月期第2四半期の連結業績(2020年3月1日～2020年8月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期第2四半期	5,502		199		217		308	
2020年2月期第2四半期								

(注) 包括利益 2021年2月期第2四半期 362百万円 ( %) 2020年2月期第2四半期 百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年2月期第2四半期	42.61	
2020年2月期第2四半期		

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年2月期第2四半期	18,637	7,410	36.3	933.35
2020年2月期	17,709	7,939	41.0	1,002.26

(参考) 自己資本 2021年2月期第2四半期 6,759百万円 2020年2月期 7,258百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年2月期		0.00		22.00	22.00
2021年2月期		0.00			
2021年2月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

### 3. 2021年2月期の連結業績予想(2020年3月1日～2021年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,506	3.4	742		775		894		123.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年2月期2Q	7,407,800 株	2020年2月期	7,407,800 株
期末自己株式数	2021年2月期2Q	165,381 株	2020年2月期	165,381 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年2月期2Q	7,242,419 株	2020年2月期2Q	7,242,419 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっては、添付資料3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュフロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	10
(追加情報等)	10
3. 補足情報	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社は、前期の2019年6月12日付で連結子会社でありました株式会社ミヤギを吸収合併したことにより2020年2月期第2四半期では連結財務諸表非作成会社であった一方、KYODO DIE-WORKS (THAILAND) CO., LTD. が前連結会計年度末に連結子会社となったため、前年同四半期の損益数値及びこれに係る対前年同四半期増減率等の比較分析は行っておりません。

当第2四半期連結累計期間（2020年3月1日～2020年8月31日）におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大により緊急事態宣言が発令され、経済活動が大きく制限されるなか企業収益は急速に減少し極めて厳しい状況に陥りました。緊急事態宣言が解除された後も、雇用・所得環境の悪化は続いており、個人消費や企業収益の回復も先行きが見えない不透明な状態となっております。また、世界経済においても新型コロナウイルス感染症は収束の兆しもないまま更に拡大を続けており、経済活動への影響も予断を許さない状況となっております。

当第2四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く業界動向は、環境・エネルギー関連は、堅調に推移したものの、航空・宇宙関連、住宅関連、交通・輸送関連、機械販売関連は厳しく推移しました。このような環境の中、当社グループは新型コロナウイルスの感染防止対策を講じるとともに、経費削減や投資計画の見直しを図るなど、あらゆる角度から利益創出に向けた対策を実行いたしました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高につきましては、タイ国の関連会社であったKYODO DIE-WORKS (THAILAND) CO., LTD. が前連結会計年度末に連結子会社となったことなどから、5,502百万円となりました。利益につきましては、新型コロナウイルス感染拡大等の影響により航空・宇宙関連、交通・輸送関連、機械販売関連が厳しく推移したことから営業損失は199百万円、経常損失は217百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失は308百万円となりました。

セグメントの概況は、次のとおりであります。

なお、各セグメントの営業利益は、各セグメントに配賦することが困難な本社管理部門に係る営業費用等を控除する前のものであります。

#### ①放電加工・表面処理

放電加工・表面処理は、航空・宇宙関連で新型コロナウイルス感染拡大による急激な需要低迷により生産調整が行われ大幅な減産となりましたが、環境・エネルギー関連の遠心圧縮機関連部品や、産業用ガスタービン関連部品の売上高が増加し上記のマイナスを吸収いたしました。利益面では、環境・エネルギー関連の産業用ガスタービン関連部品が増収効果と工程改善によって原価改善が図れたものの、航空・宇宙関連の大幅な売上高の落ち込みの影響は大きく、減益の吸収には至りませんでした。

その結果、売上高は2,809百万円、営業損失は64百万円となりました。

#### ②金型

金型は、新型コロナウイルス感染拡大による影響等により、住宅着工件数の減少および、産業品の需要停滞によって住宅関連のアルミ押出用金型などが減少したことに加え、交通・輸送関連のセラミックスハニカム押出用金型も減少するなど、厳しく推移したものの、タイ国関連会社であったKYODO DIE-WORKS (THAILAND) CO., LTD. を前連結会計年度末より連結子会社としたことにより増収となりました。利益面では、上記の連結子会社以外の住宅関連と交通・輸送関連の売上高の減少影響と、社内設備購入に関わる費用を計上したことから営業利益を押し下げました。

その結果、売上高は2,205百万円、営業利益は232百万円となりました。

#### ③機械装置等

機械装置等は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響等により、交通・輸送関連のプレス部品加工の減産に加え、機械設備関連のデジタルサーボプレス機等については、コロナ禍で市場環境が不透明なことなどから納入が延期となるものがありました。利益面では、減産の影響があったものの、金型セグメント向け金型生産設備及び、放電加工・表面処理セグメント向けの加工設備等の社内販売による利益が発生いたしました。

その結果、売上高は486百万円、営業利益は82百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べ416百万円増加し、6,638百万円となりました。その主な要因は、現金及び預金の増加643百万円、受取手形及び売掛金の減少533百万円、仕掛品の増加129百万円、及びその他に含まれる未収入金の増加145百万円によるものであります。固定資産は、前連結会計年度末に比べ511百万円増加し、11,998百万円となりました。その主な要因は、大和事業所の竣工にともなう建物及び構築物の増加952百万円及び、建設仮勘定の減少702百万円、有形固定資産のリース資産の増加542百万円によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末に比べ717百万円増加し、5,144百万円となりました。その主な要因は、短期借入金の増加953百万円、賞与引当金の減少112百万円によるものであります。固定負債は、前連結会計年度末に比べ740百万円増加し、6,082百万円となりました。その主な要因は、長期借入金の増加277百万円、リース債務の増加436百万円によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ529百万円減少し、7,410百万円となりました。その主な要因は、配当金の支払159百万円に加え、当四半期純損失306百万円を計上したことによるものであります。

### (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ676百万円増加し、1,915百万円となりました。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、425百万円となりました。これは主に税金等調整前四半期純損失227百万円、減価償却費541百万円、売上債権の減少561百万円、賞与引当金の減少112百万円、及び未払消費税等の減少118百万円によるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、984百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出988百万円によるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は、1,255百万円となりました。これは主に長期借入金の増加額(純額)431百万円、短期借入金の増加額(純額)800百万円、セール・アンド・リースバックによる収入274百万円、及び配当金の支払額166百万円によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年2月期の通期連結業績予想及び配当の予想につきましては、不確定な要素が多く、影響額について見極めることが非常に困難なため、2020年4月7日に公表いたしました通期見通しを2020年7月7日に一旦取り消して未定としておりましたが、現時点で入手可能な情報や足元の業績推移に基づき算定し、通期の連結業績予想並びに配当の予想を、本日(2020年10月6日)付けで公表しております。なお、今回の業績予想においては、ウィズコロナの社会・経済活動が今後主要国において継続すると想定し、更なる新型コロナウイルス感染症拡大による、日本での緊急事態宣言の再発令や、各国におけるロックダウンの可能性は織り込んでおりません。また、当社グループではこのコロナ禍を乗り越えるべく様々な構造改革に着手しておりますが、その効果や影響額など合理的な算定ができ次第、速やかに業績の修正を行う予定であります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,407,292	2,051,199
受取手形及び売掛金	2,847,629	2,314,246
電子記録債権	379,291	345,461
商品及び製品	17,349	21,192
仕掛品	767,977	897,210
原材料及び貯蔵品	480,430	500,405
その他	322,312	509,125
貸倒引当金	△31	△25
流動資産合計	6,222,251	6,638,816
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,431,980	3,384,923
機械装置及び運搬具(純額)	2,203,025	2,041,385
土地	4,033,516	4,033,065
リース資産(純額)	190,850	732,997
建設仮勘定	1,067,111	364,202
その他(純額)	224,971	212,414
有形固定資産合計	10,151,456	10,768,988
無形固定資産		
ソフトウェア	98,633	98,922
リース資産	183,742	148,088
その他	6,765	14,978
無形固定資産合計	289,141	261,989
投資その他の資産		
投資有価証券	168,207	148,592
繰延税金資産	739,269	684,285
その他	152,180	148,350
貸倒引当金	△13,500	△13,500
投資その他の資産合計	1,046,157	967,728
固定資産合計	11,486,755	11,998,706
資産合計	17,709,006	18,637,522

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,104,331	1,036,955
短期借入金	2,113,655	3,067,055
リース債務	129,246	195,382
未払法人税等	17,961	25,920
賞与引当金	258,189	146,059
工場移転費用引当金	55,500	50,134
その他	748,315	622,964
流動負債合計	4,427,200	5,144,472
固定負債		
長期借入金	3,611,873	3,889,670
長期未払金	47,220	47,220
リース債務	271,793	708,218
退職給付に係る負債	1,342,779	1,357,728
デリバティブ債務	17,998	12,629
資産除去債務	50,173	50,266
繰延税金負債	—	16,866
固定負債合計	5,341,837	6,082,599
負債合計	9,769,038	11,227,071
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	889,190	889,190
資本剰余金	778,642	778,642
利益剰余金	5,834,565	5,366,612
自己株式	△111,025	△111,025
株主資本合計	7,391,372	6,923,419
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,908	△9,300
繰延ヘッジ損益	△12,494	△8,767
為替換算調整勘定	—	△26,345
退職給付に係る調整累計額	△129,004	△119,322
その他の包括利益累計額合計	△132,590	△163,735
非支配株主持分	681,186	650,767
純資産合計	7,939,968	7,410,451
負債純資産合計	17,709,006	18,637,522

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自2020年3月1日 至2020年8月31日)
売上高	5,502,068
売上原価	4,610,758
売上総利益	891,310
販売費及び一般管理費	
運搬費	28,879
給料	451,701
賞与引当金繰入額	36,660
退職給付費用	29,965
旅費及び交通費	34,504
減価償却費	79,849
研究開発費	22,553
その他	406,911
販売費及び一般管理費合計	1,091,025
営業損失(△)	△199,715
営業外収益	
受取利息	1,077
受取配当金	3,236
受取賃貸料	7,571
受取割引料	3,756
その他	3,742
営業外収益合計	19,384
営業外費用	
支払利息	23,869
為替差損	5,584
賃貸費用	4,158
その他	3,852
営業外費用合計	37,465
経常損失(△)	△217,796
特別利益	
固定資産売却益	711
特別利益合計	711
特別損失	
固定資産売却損	739
固定資産除却損	1,301
工場移転費用	8,282
特別損失合計	10,323
税金等調整前四半期純損失(△)	△227,408
法人税等	79,129
四半期純損失(△)	△306,538
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,081
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△308,619



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自2020年3月1日 至2020年8月31日)
四半期純損失(△)	△306,538
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△18,209
繰延ヘッジ損益	3,727
為替換算調整勘定	△51,657
退職給付に係る調整額	9,682
その他の包括利益合計	△56,457
包括利益	△362,995
(内訳)	
親会社株主に係る包括利益	△339,764
非支配株主に係る包括利益	△23,230

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)	
当第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失(△)	△227,408
減価償却費	541,578
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△6
受取利息及び受取配当金	△4,314
支払利息	23,869
有形固定資産売却損益(△は益)	28
売上債権の増減額(△は増加)	561,876
たな卸資産の増減額(△は増加)	△155,077
仕入債務の増減額(△は減少)	△58,375
賞与引当金の増減額(△は減少)	△112,130
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	30,647
工場移転費用引当金の増減額(△は減少)	△5,365
固定資産除却損	1,301
未払消費税等の増減額(△は減少)	△118,360
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△73,565
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△105,157
小計	299,540
利息及び配当金の受取額	5,028
利息の支払額	△26,487
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	142,399
補助金の受取額	5,000
営業活動によるキャッシュ・フロー	425,481
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△988,789
有形固定資産の売却による収入	4,200
投資有価証券の取得による支出	△3,007
無形固定資産の取得による支出	△26,569
定期預金の預入による支出	△31,246
定期預金の払戻による収入	60,000
その他の支出	△560
その他の収入	1,004
投資活動によるキャッシュ・フロー	△984,967
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	6,600,000
短期借入金の返済による支出	△5,800,000
長期借入れによる収入	888,025
長期借入金の返済による支出	△456,827
配当金の支払額	△158,829
非支配株主への配当金の支払額	△7,188
リース債務の返済による支出	△83,781
セール・アンド・リースバックによる収入	274,016
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,255,414
現金及び現金同等物に係る換算差額	△19,088
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	676,839
現金及び現金同等物の期首残高	1,238,392
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,915,231

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

## (セグメント情報等)

前第2四半期累計期間(自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)

前第2四半期累計期間は連結財務諸表を作成していないため記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間(自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			
	放電加工・表面処理	金型	機械装置等	計
売上高				
外部顧客への売上高	2,809,628	2,205,809	486,630	5,502,068
セグメント間の内部売上高又は振替高	5,114	5,806	24,928	35,848
計	2,814,743	2,211,615	511,558	5,537,917
セグメント利益又は損失(△)	△64,282	232,475	82,457	250,650

## 2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	250,650
全社費用(注)	△450,365
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△199,715

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## (追加情報)

新型コロナウイルス感染症拡大により、当社グループでは主要な取引先の減産の影響を受けており、当該影響は今後一定期間にわたり継続することが見込まれることから、当第2連結会計期間において繰延税金資産の回収可能性を見直しております。この結果、繰延税金資産の一部を取り崩したことなどに伴い、法人税等調整額を71百万円、法人税等に計上しております。

## 3. 補足情報

## (1) 生産、受注及び販売の状況

## ①生産実績

当第2四半期連結累計期間(2020年3月1日～2020年8月31日)

(単位:千円)

セグメントの名称	第2四半期連結累計期間 (2020年3月1日～2020年8月31日)	
		前年同期比(%)
放電加工・表面処理	2,929,783	—
金型	2,114,434	—
機械装置等	715,791	—
合計	5,760,009	—

(注) 1. 上記金額は、販売価格によって表示しております。  
2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

## ②受注状況

当第2四半期連結累計期間(2020年3月1日～2020年8月31日)

(単位:千円)

セグメントの名称	第2四半期連結累計期間 (2020年3月1日～2020年8月31日)	
		前年同期比(%)
放電加工・表面処理	3,082,203	—
金型	1,718,502	—
機械装置等	781,374	—
合計	5,582,079	—

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

## ③販売実績

当第2四半期連結累計期間(2020年3月1日～2020年8月31日)

(単位:千円)

セグメントの名称	第2四半期連結累計期間 (2020年3月1日～2020年8月31日)	
		前年同期比(%)
放電加工・表面処理	2,809,628	—
金型	2,205,809	—
機械装置等	486,630	—
合計	5,502,068	—

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。